

高Ⅱ・Ⅲ世界史B（Aグレード） 4単位

使用教材	検定教科書 『詳説世界史B』（山川出版社） 副教材 ①「オリジナルプリント」 ②図説・資料集として『NEW STAGE 世界史詳覧』（浜島書店）は主に授業で使用して内容を確認する。
試験・評価・課題等	①副教材を毎時間持参し、オリジナルプリントに沿って学習する。基本的に教科書に記載されている全範囲を取り扱う。 ②定期考査は全て入試問題から出題。試験範囲は過去に出題した範囲も全て含めてゆく。 ③評価は定期考査が50%と、小テスト及び各種確認テストなどを平常点分50%の合計点で行う。

学習計画（高Ⅱ）

期間	学習項目	指導上のポイント	備考
一学期	中間 ・文明の誕生 ・先史・古代オリエント世界 ・古代ギリシア・地中海世界	・近年の考古学・経済学の業績を踏まえながら各文明圏の成立をつかませる。 ・オリエント世界とギリシア・ローマ世界を対比し、共通点・差異点を討論学習の中から答えを探させる。 ・イスラム圏・ロシア・ヨーロッパ圏の源流となった地中海世界の文明としての特質と、それが現代世界に与えている影響を討論学習の中から答えを探させる。	・小テストの取り組みを通して、基礎基本的な内容の定着を図る。
	期末 ・古代インド・イラン世界 ・古代中国世界（後漢まで）	・インドで生まれた宗教の特質、古代インド世界の文明としての特質を把握し、近隣の文明圏にどのような影響をあたえたかを、師弟ともに議論する。 ・なぜ、中国は皇帝中心の集権体制の成立が早くからみられたかを師弟ともに議論する。	・サマーセミナーを通して、好奇心の涵養に努め、自ら学ぼうとする意欲を高める環境づくりを行う。
二学期	中間 ・中国史（清まで） ・遊牧民族の活動	・漢民族と周辺遊牧民の攻防が王朝変遷に与えた影響を師弟ともに議論する。 ・史上初の「グローバル化」をもたらしたモンゴル帝国の存在意義をつかませる。	・11月の模試への取組みを徹底して行い、結果をださせる環境づくりを行う。
	期末 ・イスラム世界の形成と発展（18C三大イスラム帝国成立まで）	・イスラム世界が東西二大文明圏に与えた影響をつかませる。 ・商業ネットワークを活性化させたイスラム商人の実像を調べさせる。	・ウインターセミナーでセンター同日模試受験への意欲喚起を促す環境づくりを行う。

三学期	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・中世ヨーロッパ世界の形成・発展 	<ul style="list-style-type: none"> ・「マホメットなくしてシュルルマーニュなし」 ・「都市の空気は自由にする」 ・「哲学は神学の侍女」の3つの名言を用い中世西欧世界について師弟ともに議論する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・模試対策補習などを展開し、1月模試で結果を出せる環境づくりを行う。
-----	----	--	--	--

学習計画（高Ⅲ）

期間	学習項目	指導上のポイント	備考	
一学期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンス・大航海時代・宗教改革が起こった必然性をつかませる。 ・絶対王政の成立と崩壊の過程の理解を通して、主権国家体制における国民国家の成立の意義をつかませる。 ・大航海時代より始まる「近代世界システム」の成立と発展をつかませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年次は自学自習の時期、積極的に自ら演習できる環境づくりを行う。 	
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀西欧におけるナショナリズムの意味合いの変化を、各事件の内容を把握した上で師弟ともに議論する。 ・アジア・アフリカ世界へのヨーロッパ世界の進出の理由を「近代世界システム」の理論を利用して師弟ともに議論する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サマーセミナーで、一層自学自習できる環境づくりを行う。 	
二学期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義とアジアの民族運動 ・二つの世界大戦（第一次世界大戦まで） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「帝国主義とはなにか」をホブソン・レーニンなどの学者の説を応用して把握させる。 ・パン=イスラム主義など、各地域をこえた思想・運動の広がりをもとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・徹底して、自らが問題演習に積極的に取り組む雰囲気をつくる。
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの世界大戦 ・冷戦と第三世界の自立 ・現代の世界 	<ul style="list-style-type: none"> ・1945年は以前と以後は「断絶でなく連続である」という物差しで20世紀史を俯瞰させ、そこから発見できることを見つけさせる。 ・グローバル化された世界で発生している諸問題と大国アメリカの興亡を、時事ニュースをからめながら、自ら説明できるようにし、「人類社会の未来に対して、自分ができること」を師弟ともに議論する 	<ul style="list-style-type: none"> ・センター直前講習まで、必ず参加するようにうながし、チーム力で実力向上を最後まで図る。
三学期	期末		<ul style="list-style-type: none"> ・2月まで直前講習を実施、あきらめさせず本番を迎えさせたい。 	

高Ⅱ・Ⅲ世界史B（Bグレード） 4単位

使用教材	検定教科書 『詳説世界史B』（山川出版社） 副教材 ①「オリジナルプリント」 ②図説・資料集として『NEW STAGE 世界史詳覧』（浜島書店）は主に授業で使用して内容を確認する。
試験・評価・課題等	①副教材を毎時間持参し、オリジナルプリントに沿って学習する。基本的に教科書に記載されている全範囲を取り扱う。 ②定期考査は小テストや授業プリントから出題。日々の授業中の取り組みが試験で発揮できるような授業展開を行う。 ③評価は定期考査と、ノート提出や小テスト及び各種確認テストなどを平常点として加味する。

学習計画（高Ⅱ）

期間	学習項目	指導上のポイント	備考
一学期	中間 ・文明の誕生 ・先史・古代オリエント世界 ・古代ギリシア・地中海世界	・メソポタミア・エジプト文明の興亡を理解させる。 ・各文明の文化の特色を討論学習などの手法を用いて理解させる。 ・ギリシア民主制の成立経過を理解させる。 ・共和政ローマ・帝政ローマの政治史を理解させる。	・小テストを定期的に行い、習得状況を自ら確認できるようにさせる。
	期末 ・古代インド・イラン世界 ・古代中国世界（後漢まで）	・古代インドの各王朝の政治史を理解させる。 ・イラン文明が二大文明圏に与えた影響を理解させる。 ・中国における皇帝を中心とした中央集権体制国家の成立・変遷を理解させる。	・サマーセミナーでより積極的に学習できる環境づくりを行う。
二学期	中間 ・中国史（清まで） ・遊牧民族の活動	・中国各王朝の政治史を理解させる。 ・東西二大文明圏を接合させた中国北方地域、中央アジアで活躍した遊牧民の興亡を理解させる。	・11月模試への過去問などを解き、模試受験への意識を高めさせる。
	期末 ・イスラム世界の形成と発展（18C三大イスラム帝国）	・イスラム世界の成立過程を理解させる。 ・イスラム各王朝の政治史を理解させる。 ・イスラム文明に関わる作品・人物を理解させる。	・ウインターセミナーでセンター同日模試受験への意識を高めさせる。
三学期	期末 ・中世ヨーロッパ世界の形成・発展	・ゲルマン民族の移動以降第一次膨張運動までの政治史を理解させる。	

学習計画（高Ⅲ）

期間	学習項目	指導上のポイント	備考	
一学期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ主権国家体制の展開 ・欧米における近代社会の成長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンス・宗教改革・大航海時代の事項を理解させる。 ・産業革命・アメリカ独立革命・フランス革命を通じて市民社会の形成を理解させる。 	
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米における近代国民国家の発展 ・アジア諸地域の動揺 	<ul style="list-style-type: none"> ・フランス7月革命・2月革命が与えた影響を理解させる。 ・ヨーロッパ列強がアジア・アフリカ社会に進出する過程を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サマーセミナーで大学受験への意識をさらに高めさせる。
二学期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義とアジアの民族運動 ・二つの世界大戦（第一次世界大戦まで） 	<ul style="list-style-type: none"> ・列強により世界が分割されてゆく過程を理解させる。 ・第一次世界大戦前・大戦中の各国の政治史を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストを行い、基礎基本の知識の習得を徹底させる。
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの世界大戦 ・冷戦と第三世界の自立 ・現代の世界 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦間期、ヴェルサイユ体制・ワシントン体制が日独伊を追い詰めることになったことを理解させる。 ・世界恐慌がファシズムの台頭に繋がる一面があったことを理解させる。 ・冷戦の成立・崩壊の過程を理解させる。 ・グローバル化された世界でいま起きている課題を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直前センター補習などで、最後まで実力向上を図らせる。最後まで補習に参加する雰囲気づくりを行う。